

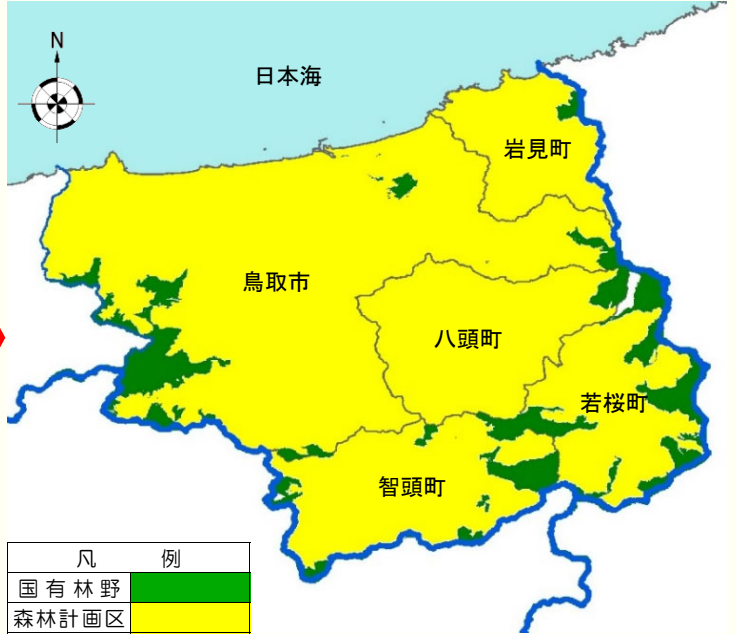
地域管理経営計画の概要

千代川森林計画区

1 森林計画区の概況

国有林野面積は15,324haであり、鳥取県東部の東中国山地脊梁部に比較的大きな団地が所在しています。

位置図



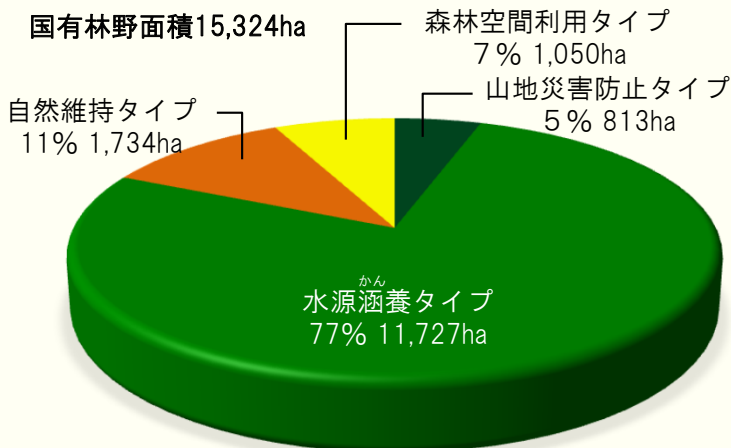
森林計画区内の森林面積に占める国有林野の割合は13%です。これらのうち96%は水源かん養保安林となっており、重要な水源涵養機能の一端を担っています。

また、国有林野の人工林率は57%で、この森林蓄積の約8割が10齢級以上と利用期を迎えていることから、兵庫県境で立地のよい氷ノ山、小舟山国有林では「森林共同施業団地」を設定し、民有林と連携して森林整備や木材生産に取り組んでいます。

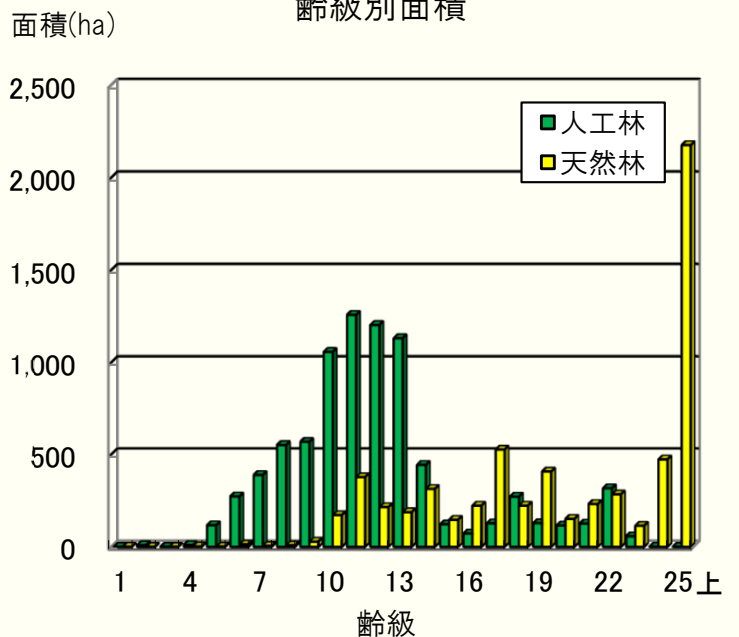
森林計画区内における森林面積の割合



機能類型の割合



齢級別面積



注1 各データは令和3年現在。

注2 四捨五入等により内訳と合計が合わない場合がある。

注3 齢級とは、5年をひとくりにし、林齢1~5年生を1齢級、6~10年生を2齢級、以下、3齢級、4齢級と続く。

2 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

(1) 主要事業量

森林の有する公益的機能を持続的に発揮させるため、2,006ha（21.8万 m^3 ）の間伐を実施し、間伐材の有効利用に努めます。

また、203ha（4.8万 m^3 ）の主伐を実施します。

事業区分		新計画	現計画
伐採総量	主伐	203ha（48,166 m^3 ）	216ha（47,213 m^3 ）
	間伐	2,006ha（217,629 m^3 ）	2,262ha（226,824 m^3 ）
更新総量	人工造林	177.19 ha	179.63ha
	天然更新	—	—
保育総量	下刈	439.12ha	454.67ha
	除伐	4.75ha	—
林道事業	開設	2,720m	5,800m
	改良	1,630m	—
治山事業	保全施設	8箇所	13箇所
	保安林の整備	—	12.04ha

注1 主伐とは、利用期に達した樹木を伐採し収穫すること。間伐と異なり伐採した後に更新を行う。

2 間伐とは、育てようとする樹木どうしの競争を軽減するため、混み具合に応じて一部の樹木を伐採すること。

3 更新とは、伐採等により樹木がなくなった箇所において、植林を行うことや自然力の活用等により森林の世代が替わること。

4 除伐とは、育てようとする樹木の生長を妨げる他の樹木を刈り払う作業。通常、育てようとする樹木の枝葉が互いに接する状態になるまでの間に行う。

(2) 民有林と連携した施業の推進

民有林と国有林が隣接している区域において「森林共同施業団地」を設定し、民有林所有者と連携して路網の整備、土場の共同利用や民有林材との協調出荷等に取り組みます。

名称	対象地		連携して行う取組み
小舟山地域 森林共同施業団地	民有林	382ha	若桜町
	国有林	1,097ha	氷ノ山国有林（若桜町） 小舟山国有林（若桜町）

【森林共同施業団地意見交換会の様子】



鳥取森林管理署

【現地検討会の様子】



小舟山国有林（若桜町）

(3) 林道等の路網整備

林産物の搬出、森林の育成、適切な保安全管理等を効率的に行うため、自然・社会的条件を考慮しつつ、林道等の路網を計画的に整備します。

本計画区では、「森林共同施業団地」における施業の共同化・効率化をより加速させるため、国有林内の林業専用道と民有林内の作業道とを接続する連絡路を、民有林と連携して新たに開設します。

【開設した林業専用道】



小舟山国有林（若桜町）

3 国有林野の維持及び保存に関する事項

(1) 保護林

我が国の気候帯又は森林帯を代表する原生的な天然林や地域固有の生物群集を有する森林、希少な野生生物の生育・生息に必要な森林等を保護林として設定し、モニタリングを行いながら厳正に保護管理しています。

本計画区では、スギ、ブナ、トチノキ等の天然林を適切に保護管理するため、4箇所の保護林を設定しています。

【沖ノ山スギ・ブナ・トチノキ等遺伝資源希少個体群保護林】



沖ノ山国有林（智頭町）

保護林区分名称	面積 (ha)	国有林名 (市町村)	特徴
三国山生物群集保護林 (保存地区)	20.20 [319.03]	山王谷 (鳥取市)	三国山における代表的なブナを主体とする高齡天然生林の保護
沖ノ山スギ・ブナ・トチノキ等遺伝資源希少個体群保護林	88.16	沖ノ山 (智頭町)	スギ、ブナ等の天然分布を保護し、林分の遺伝資源を保存
山王谷スギ・ブナ・トチノキ等遺伝資源希少個体群保護林	114.72	山王谷 (鳥取市)	スギ、ブナ等の天然分布を保護し、林分の遺伝資源を保存
扇ノ山ブナ希少個体群保護林	54.91	扇ノ仙、沢川 (八頭町・若桜町)	中国山系における代表的なブナ天然生林の保護

(2) 緑の回廊

個々の保護林等を連結する「緑の回廊」を設定して、野生生物の生育・生息地の確保と相互交流を可能とし、より効果的に森林生態系の保護・保全を図ります。

本計画区においては、民有林とも連携し、扇ノ仙、沢川、氷ノ仙、小舟山、吉川山、沖ノ山、ハサリ、外ノ岡、扇ノ山国有林に3,544haの「東中国山地緑の回廊」を設定しています。

【東中国山地緑の回廊 尾根筋のブナ林】



扇ノ仙国有林（八頭町）